

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 42143

区分	事務事業	担当課	スポーツ・文化振興課	作成日	平成24年5月25日
事業名	郷土資料館運営事業費	開始年度	平成21年	予算科目	9.4.6.1.3

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり	章	第2章 活発で個性豊かな文化づくり
節	第1節 地域文化の振興	基本施策	4 文化財の活用
取組みの基本方向		(3)郷土資料館を拠点とした文化財の保存と活用をはかります。	
根拠法令等	文化財保護法・博物館法		
目 的 (誰・何を対象に、何のために)	地域住民を対象に、自らが居住するこの地の歴史・自然・文化の価値を再認識してもらう。他地域から、愛川に来訪した人を対象に、愛川町という存在を紹介する。		
内容・方法 (何を行っているのか)	常設展示という手法により、この地域の歴史や自然の特徴的な部分を切り取って紹介する。団体に対しては、職員が解説も行う。また、毎年、企画展示という形で、常設展示で紹介できなかったものや、常設展示の各コーナーの特別版を開催する。また、これに合わせて、講座や見学会・観察会などの事業も行う。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『地域文化の振興』について「満足」と感じる住民の割合(%)		39.3		44.0		
		郷土資料館の入館者数(人)		69,960		50,000		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	郷土資料館の入館者数(人)	増	年間の入館者数	計画値		50,000	50,000	50,000
				実績値	61,409	61,409	60,728	
				達成度※自動計算		122.8	121.5	
活動指標	企画展などの展示自主事業実施回数(回)	増	企画展などの展示自主事業実施回数	計画値		2	2	2
				実績値	4	4	7	
				達成度※自動計算		200.0	350.0	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度		基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)		877,824	877,824	897,908	914,000
(B)概算職員数(人)		2,000	2,000	2,000	2,000
(C)=(B)×(E) 人件費(円) ※自動計算		16,600,000	16,600,000	16,600,000	16,600,000
(D)=(A)+(C) 総事業費(円)※自動計算		17,477,824	17,477,824	17,497,908	17,514,000
単位当たりコスト※自動計算		284.6	284.6	288.1	
財源内訳(円)	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源※自動計算	17,477,824	17,477,824	17,497,908	17,514,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高低	B
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	○ ×	B
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 98.89% 縮減率 100.11%	C
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5. 特記事項

活動指標の欄で、予算的には、年2回の企画展示のみであるが、職員の努力により、収蔵資料展や写真展など、経費をかけない事業を随時、実施している。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	入館者数については基準年と比較すれば減少しているが、年度の目標は達成しており、施設の設置目的の達成に支障はない。また、費用はふえているといってもほぼ横ばいであることから、現状維持とするもの。		
今後の方向性	現状維持		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、経費をかけない事業の実施や利用者数の維持(増加)のための工夫については引き続き行うべきである。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

本事業の運営については、予算面では、年2回の企画展示分のみであるが、職員の創意工夫により、収蔵資料展や写真展など、経費をかけない事業の開催に努めていく。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、事業の充実に努めるものとする。		